



中丹教育支援センターだより

京都府立中丹支援学校

令和3年3月発行

令和2年度活動報告

今年度は、一年を通して感染予防対策をしながらの活動となりましたが、教育相談では各学校(園)からの相談依頼と各市教育委員会の就学に関わる教育相談などを行いました。各学校(園)からの相談依頼の中には様々な内容がありましたが、複数あった相談内容としては、肢体不自由や身体の動かしにくさのある幼児児童生徒の相談や、発達障害の傾向があり授業に参加しにくい幼児児童生徒の相談、支援学校での取組を参考にした授業についての相談でした。必要に応じて、本校の巡回相談員や外部専門機関の相談員も同行しての相談を行いました。巡回先の各学校(園)には、感染予防対策を含めて教育相談活動に御協力いただき、ありがとうございました。来年度以降も充実した相談活動が行えるように尽力していきますので、よろしくお願いいたします。

	延べ件数	新規相談校種別	就学前	小学校	中学校	高等学校
綾部市	70件	綾部市	25件	17件	10件	1件
福知山市	50件	福知山市	9件	11件	7件	5件
計	120件	計	34件	28件	17件	6件



(令和3年2月末時点)

教育相談の中で、幼児児童生徒の「気になる行動」をきっかけとして相談に挙げていただくことが多くあります。「気になる行動」から背景や原因を考え、支援策の検討を行うために、巡回先の先生方には様々な質問をさせていただいていますが、その場で見えてくるものもあれば、長期的な視点で捉えることが必要なケースもあります。そこで、日常的に記録を付けていただくことをお勧めしています。

「気になる行動」には、何かしらの理由があるはずで、それが何なのか分析できるように行動記録を付けていき、応用行動分析に生かしましょう。時と場所や場面によって行動が異なるかもしれないので、複数の目で見て記録し、情報共有することが大切です。どんな状況だったか、どんな言葉を掛けたらどのような反応が見られたか、問題行動だけでなく良い効果を示したことも記録すると、次に生かせるヒントになるはずで、学校(園)行事の日程も分かれば、その前後で変化が見られるかもしれません。休日の様子の情報交換など家庭との連携にも役立てられます。もし、「気になる行動」があれば、ぜひ取り組んでみてください。

地域開放講座について



今年度は、コロナウイルス感染予防のため、地域開放講座を中止しました。

来年度もコロナウイルスの拡大状況等を見ながらではありますが、夏季には、舞鶴支援学校、与謝の海支援学校、中丹支援学校の3校共催の夏季公開講座、冬季には中丹支援学校での地域開放講座の実施を計画しています。決まり次第、学校HPやセンターだよりにてお知らせしますので、御確認ください。